



第7回ひょうご高校生 環境・未来リーダー育成プロジェクト —複合的な地球環境問題の理解と脱炭素社会の実現— 募集要項

1 趣旨

2050年、今の高校生は40代。どのような地球環境の中で暮らしているのでしょうか。

近年、世界各地で異常気象による災害（水害、土砂災害、干ばつ、熱波等）が頻発しており、兵庫県も例外ではありません。この主因は地球温暖化です。世界中の若者が自分たちの未来を守ろうと立ち上がり、脱炭素社会への変革はすでに始まっています。

「脱炭素社会」とはどのような社会でしょうか？そのために、私たちには何ができるのでしょうか？

本プロジェクトでは、未来の主役である高校生が、この問題を多角的に捉え、自分に何ができるかを考えられるようサポートします。

未来に挑戦する高校生を待っています。

【 目指す人物像 】

- ・地球温暖化や気候変動の影響やメカニズムを科学的に理解することができる
- ・緩和及び適応に向けた取組の国際的な位置付けや社会・経済・環境に及ぼす影響を理解することができる
- ・地域の課題と関連付けて捉え、解決策を多様な意見を取り込みながら、データや根拠に基づき考案し、他者と協力して実行できる

2 開催方法及び日程

以下の日程で6日間の研修を行います。講義、現地視察、グループワーク等を通して課題解決プランの作成・発表や有識者・起業家・環境施策担当者等との意見交換を行います。

- | | |
|-------------|--|
| (1) 基礎講義 | 令和8年 9月26日(土)、11月1日(日) 両日 10時～16時頃 |
| (2) 現地視察 | 11月22日(日) 9時00分頃～17時30分頃 |
| (3) グループワーク | 11月23日(月・休) 10時00分～15時30分頃
12月12日(土) 10時～16時頃 |
| (4) 発表 | 令和9年 1月23日(土) 10時～16時頃 |

会場：兵庫県立工業技術センター研究本館2階セミナー室
(神戸市須磨区行平町3-1-12、JR鷹取駅徒歩約7分)

3 講師等

- <講師>江守 正多 (東京大学未来ビジョン研究センター教授)
吉村 陽 (兵庫県環境部次長)
辻本 一好 (神戸新聞社経営企画局専任部長 編集委員)
池田 将太 (ハチドリソーラー株式会社代表)

(裏面あり)

<コーディネーター>

- 前田 利蔵（公益財団法人地球環境戦略研究機関 関西研究センター フェロー）
田中 勇伍（公益財団法人地球環境戦略研究機関 関西研究センター リサーチマネージャー）
今 温香（公益財団法人地球環境戦略研究機関 関西研究センター アシスタントリサーチャー）

4 募集人数

40名 ※応募者が募集人数を上回った場合は抽選することがあります。
抽選結果は、7月21日頃までに本人と担当教員にお知らせします。

5 募集期間

令和8年6月1日（月）～~~6月30日（火）~~ **7月31日（金）**

6 応募資格

- (1) 県内高等学校及び中等教育学校後期課程及び高等専門学校（1～3年）に在学する者
※全日程参加が原則ですが、学校行事等と重なった場合は事前に相談してください。
※前年度参加者も応募できますが、応募多数の場合は初参加の方が優先となります。
- (2) 本事業の応募に際し、保護者の承諾が得られる者

7 参加費用

無料 ※交通費（実費）支給

8 応募方法

ホームページの応募フォームから必要事項を入力して応募してください。
https://www.eco-hyogo.jp/ecoplaza/article_entry/news/high_school_project/



9 実施主体（予定含）

- (1) 共催 兵庫県、公益財団法人ひょうご環境創造協会
- (2) 協力 公益財団法人地球環境戦略研究機関関西研究センター、兵庫県教育委員会
- (3) 後援 株式会社神戸新聞社、株式会社ラジオ関西、国立大学法人神戸大学、株式会社三井住友銀行

10 その他

- (1) 応募書類は返却しません。また知り得た個人情報は本事業を実施するためにのみ利用します。
- (2) 参加決定者は、別途本人写真の提出が必要です。
- (3) プロジェクト参加後、公益財団法人ひょうご環境創造協会、兵庫県のホームページ等で写真の掲載、学校名、氏名の掲載を考えています。

11 問合せ先

公益財団法人ひょうご環境創造協会 環境創造部 温暖化対策第1課
〒654-0037 神戸市須磨区行平町3-1-18 Tel : 078-735-2738
E-mail : carbon-neutral@eco-hyogo.jp